

令和4年度 諸宗教対話委員会活動報告

令和5年2月27日

諸宗教対話委員会

委員長 新井順證

【活動目的】

「対話」とは「討論」ではなく、異なる宗教が互いに言い負かし合う事が目的ではない。諸宗教が相互理解に努力し、世界平和と人類の幸福実現に協力し合える存在になる為に偏見を持たず真摯な心で「対話」を繰り返す事が最も重要である。当委員会はその第一歩として「他宗教を知る」という所から始めたいと考えている

【活動計画】

6月13日・14日の二日間の計画で13日13時30分八坂神社西楼門に集合し、八坂神社並びに知恩院にて新型コロナウイルス感染症早期終息の祈祷及び感染病没者供養をお願いし、神道仏教共に祈りを捧げ、その後懇親会。14日は8時京都御所に集合し京都御所清掃後、御所を案内して頂き夕刻解散。雨天の場合は下賀茂神社・京都御所・泉涌寺・伏見稲荷の参拝を計画

【活動結果】

14日が100%雨の予報の為、宮内庁より清掃の中止要請があり計画を雨天時用に変更。加えて最近神道関係者の間でクラスターが発生した事を受け、懇親会も中止となる。

13日は予定通り、八坂神社西楼門にて集合、神青9名・仏青7名にて八坂神社本殿にて祈祷して頂き、神社の歴史や建物の説明、元は寺院であった証拠の「感視院」の扁額と十一面観音像を見せて頂き、記念撮影後知恩院門下までお送り頂き知恩院御影堂へ移動。御影堂前にて係の方のお迎えがあり、供養及び祈願を厳修頂く。その後知恩院内を案内頂き方丈や鶯張りの廊下を拝見させて頂き御影堂前にて記念撮影。終り明日は清掃がない為集合を9時に変更との申し合わせをし各自解散。御供各三万円ずつ

14日9時に下賀茂神社へ参拝。予約せず参拝の予定であったが神道青年全国協議会の方が下賀茂神社の神職に見咎められ、半ば強引ではあるものの正式参拝させて頂く。記念撮影後泉涌寺へ各自移動。こちらは拝観料を払いお参りさせて頂く。記念撮影後、昼になりコロナ禍の為16名入る店も見つからず、解散の意見も出たが、神青側が京都駅近辺に貸し会議室を手配され、ディスカッションの場を設けることができた。「百年後寺社が生き残るには」「現在取り組んでいる事」等をテーマに三班に分かれ忌憚なく意見交換ができた。1時間半程で終了し、京都駅前にて和気藹藹と解散した。

【活動予定】

神道青年全国協議会との連携をとりつつ、コロナ禍等の世相を見ながら可能な範囲での共同事業を計画し、本年度はコロナ禍終息祈願や疫病感染症死者供養だけでなく、戦災被害者や天災被害者への祈りを共に捧げたいと考えている。

以上

